

## 市長と語ろう！笠間タウントーキング 第9回 議事録

**開催日時** 平成21年8月7日（金） 午後7時30分～9時10分  
**開催場所** 北川根小学校 学童保育室  
**参加者** 市民 16人

### 《フリートーク（意見交換）》

1. 地域コミュニティについて
2. 洪水被害対策・水害対策について
3. 緊急経済対策地域コミュニティ助成事業について
4. 市道2級10号線と岩間街道について
5. 笠間地区茨城中央工業団地について
6. 高齢者のエネルギーを活用できる施策について
7. 老人会の予算が減っているので見直してほしい
8. 土木費・民生費について
9. 学校への電子黒板の導入について
10. バイオエネルギーの活用について
11. 太陽光発電の導入について
12. 友部地区の住環境を配慮した開発をしてほしい

### 《内容》

1. 地域コミュニティについて

#### 【意見等】

地域コミュニティについて、班に入らない若い人が増えている。高齢化により区長が全体を把握するのに苦労している。地域コミュニティの再構築が必要ではと思う。区長制度を龍ヶ崎市がこの4月に廃止し、那珂市が廃止の方向で動いていると聞いている。行財政改革大綱の実施計画の中にも地域コミュニティをつくるというテーマが入っていたと思う。

笠間市では、どのような問題点があって、どうしていこうとしているのか教えてほしい。

#### 【回答】

転入してきて、班にも区にも入らず、募金や協力金を集めに行っても協力してもらえないなどの状況が各地区で起きています。

行政指導の中で、「強制的に入れ」と命令はできないので、「ぜひ、入ってください」とお願いしているのが現状です。

笠間市だけの課題ではなく、区長制度は行政が区長に委嘱をして、区の取りまとめを行っているのですが、加入者が集まらなると取りまとめが進まないの、他の市町村では、区長制度をやめて、自己責任になる自治会制度も取り入れられています。自治会制度は、自分たちのことは自分たちでやっとうといこうというもので、区長制度とは違う意味合いを持っています。どちらがいいのかは、意見が分かれますが、市では当面、区長制度を維持していきたいと思っています。

2. 洪水被害対策・水害対策について

#### 【意見等1】

ハザードマップを作ったようだが、どの程度まで出ているのか。

#### 【回答1】

ハザードマップは、河川の氾濫を想定したマップで、全戸配布ではなく、涸沼川沿い（おおよそ笠間地区の国道50号線から宍戸地区の常磐線の間）の影響の出ると予想される地域に配りました。

がけ崩れの想定については、現在調整中です。

#### 【意見等2】

大雨のときは、みどり野団地でも、友部スクエア前の道路から団地の前に水が流れ込んでくる。側溝がオーバーフローして一番奥の家に入ってしまう。市役所にも話をしてあると思う。

**【回答2】**

現在の気象状況の変化の中では、今日のようなゲリラ豪雨が、今後とも予想されます。そういうものを想定した対応を考えていかなければならないと思います。

今日、ここへ来る前に笠間地区を見てきました。浸水の被害を受けた地域の方に、車が通ることによって波のように水が入ってきたので、家が建ち並ぶ前後の道路を交通止めにすれば、状況が違っていたと言われました。

今日の雨では、きめ細やかな対応、対策が必要であったと反省しています。

**3. 緊急経済対策地域コミュニティ助成事業について**

**【意見等】**

市民活動課で対応している緊急経済対策の補助申請を出したいと思っているが、現在の申込状況を教えてほしい。また、申込みがオーバーした場合には、予算はこれ以上出ないのか。

**【回答】**

地域の集会所等の改修補助ということで5000万円の予算措置をしまして、昨日までに予算に対し約半分2500万円くらいの申込みがありました。ただ、8月21日が申込みの締切でして、問合せは50件以上あります。なんとも言えないのですが、だいたい予算の範囲に収まるのではないかと考えています。もし、収まらない場合には、説明会のとおり、抽選としたいと考えています。今年度限りの事業ですので、予算をオーバーしたときには、市の単独でやらなくてはなりません。

**4. 市道2級10号線と岩間街道について**

**【意見等】**

友部スクエア前にできた新しい道路2級10号線は、将来的にはどこまで延ばすのか。

**【回答】**

岩間街道から北川根小のところで止まります。当初は、大洗友部線に抜く計画でいたのですが、5差路、6差路になり、流通の関係もありますので、今後県と協議をしてきます。工事としては来年度で終わる予定です。

**【意見等2】**

岩間街道が混雑するので、県へ要望してほしい。

岩間街道に出ようとして、なかなか出られない場合が往々にしてある。複線のようなものを考えてほしい。通勤、通学などから朝晩は非常に混雑する。

**【回答2】**

なかなか新しくバイパスというわけにはいかないのですが、友部地区でもここ1、2年で道路体系はだいぶ出来てきていますので、そういう中で車の流れが変わり、渋滞が緩和されることはありえると思います。

**5. 笠間地区茨城中央工業団地について**

**【意見等】**

友部大洗線の橋が今年度中に開通するとのことだが、関連して、茨城中央工業団地への企業の進出計画はどうなっているのか。

**【回答】**

茨城中央工業団地は、笠間地区と茨城町区とありますが、笠間地区の方は、県からは、企業が景気後退の中、足踏みをしている状態で、正式に進めている話はないと聞いています。誘致のための努力はしていかなければならないと思っています。

**6. 高齢者のエネルギーを活用できる施策について**

**【意見等】**

団地住まいをしている。旭丘団地は、約100軒の団地だが、同じ世代が多く、これから一気に高齢者になる。そのとき、定年後のエネルギーを活用できるような市の方策を打ち出してほしいと思う。自助努力をして、「何かを作り上げたい」、「人生第二の生きがいを見つけたい」と思い、何かしようと思うのだが、うまく動けない。市では、市民活動課という部署を設けているので、力を借りたいと思うが、そこ行って何をどう相談したらいいのかわからない。市で盛り上げてくれるような方策は

ないのか。行政には、市民のエネルギーをうまく取りまとめてほしい。

また、周囲の人から、合併してから、市役所に行ってもなじみの顔が見られなくて、相談しにくいと何度も聞いている。以前は気さくに声をかけてくれた。

**【回答】**

高齢者というだけでなく、市民の皆さんが積極的に行事に参加できるようにする仕組みができないかと思っています。いまだ旧市町に活動範囲がとどまってしまうと思います。笠間市は行事・イベントが多い地域です。大きなイベントは職員総出で行っています。職員が出なくなるということではなく、そういう行事に市民の皆さんも一緒にボランティアとして参加してもらい仕組みづくりができないかと考えています。

職員の対応では、適切にしっかりとした対応を指導して、窓口を中心としたよりよいサービスを目指しています。確かに、顔がわからないと声をかけにくいところはあると思います。

7. 老人会の予算が減っているの見直してほしい。

**【意見等】**

高齢者はけっこう力がある。私の住んでいる団地でも区長のなり手をなかなか選出できないとき、高齢者に手を上げてもらっている。団地には老人会もあり、スポーツなど対外的に活動して、市外に遠征をしている。高齢者のクラブを作って活動していくことが、他の地域の人とつながっていくことになるので、老人会をもっと大事にしてほしい。年々老人会の予算が減っている。少し見直してほしい。

**【回答】**

高齢者クラブの予算の件については、減っているのは事実です。考え方としては、高齢者クラブに入っている人の数が減っているの、人数に合わせて減らしているのが現状です。

もちろん高齢者クラブの組織は重要で、活動が活発に行われることが、健康づくりや地域の活動の活性化にもつながることだと思いますので、そういうご意見も含めて予算は対応していきたいと思いますが、登録人数が減ってきているのが問題です。

8. 土木費・民生費について

**【意見等1】**

土木費について聞きたい。バブル期以前につくった道路や建物、橋などの構築物というのはだいぶ老朽化してきていて、補修費というのが増えてきているのではないかと思うが、どうか。

昔は、土木費は、歳出項目では1番だった。今は民生費が1番になっている。

**【回答2】**

道路に関して言えば、割合は維持管理費よりは建設に使っている方が多いです。目安として、新規建設と維持管理では7対3ぐらいです。

「かさまのわかりやすい予算」の13ページを見ていただくと、歳出の割合が載っています。民生費は、今後減ることはないと思います。土木費は、増えることも減ることもあると思います。

**【意見等2】**

民生費には生活保護の費用も含まれているのか。生活保護費が増えているような気がするが。受身の補助のようになっていると思う。

**【回答2】**

生活保護の対象者は笠間市では増えています。対人口比では、県内の同じ人口規模の市と比べると多いという事情があります。

市としては、生活保護者の生活状況はきちんと把握して、不正受給のないように指導しています。

9. 学校への電子黒板の導入について

**【意見等】**

緊急経済対策の補正予算の中で、学校関係整備補助金に電子黒板の購入費用という項目がある。最近、電子黒板についてテレビ放送があり、とても有効で便利なものだったのだが、この電子黒板は今年、市内全校に取り入れられるのか。

**【回答】**

電子黒板とは、プロジェクターのような原理で使用するものです。1クラスに1つということでは

ありませんが、移動式のものが全校に入ります。

#### 10. バイオエネルギーの活用について

##### 【意見等】

バイオエネルギーの公用車への使用を始めたようですが、効果はどうか。

##### 【回答】

平成20年度に民間の事業者に、市が廃油を提供して試験的に行い、今はストップしています。今年度、先進地を調査するなどして、22年度に向けて検討中です。バイオエネルギーは廃油を集める手段と使用先が問題です。よく検討しながら今年度中に判断したいと思います。

#### 11. 太陽光発電の導入について

##### 【意見等】

太陽光発電について、大原小学校のようなものを公の施設に取り入れる計画はあるか。

##### 【回答】

何らかのかたちで導入したいと思っています。具体的にはまだ決まっていません。

#### 12. 友部地区の住環境を配慮した開発をしてほしい

##### 【意見等】

合併の少し前、友部町ではまちづくり懇談会や町民の意見を聞く会があったが、旭町は住宅街であるという認識だったと思うので、今後笠間が交通の要衝地となっていく場合でも、トラックが通りぬけるような開発はしないほしい。

##### 【回答】

友部地区は交通の利便性の高い、住まいの場と考えています。3地区の特性を生かした地域づくりが必要なので、友部地区では、人口対策という面からも住環境を整備したまちづくりをしていきたいと思っています。